

令和5・6年度 松坂城跡整備の概要（登城路整備工事）

令和6年（2024）9月7日 現地説明会資料
松阪市産業文化部文化課

1. 設計条件

整備基本計画を基に、以下の考え方で設計を行った。

- ・発掘調査の成果を基に遺構（裏門など）の顕在化を図る。
- ・雨水排水施設の改修と御城番長屋方向への雨水の流下を軽減するための水路を設ける。
- ・緊急車両（消防自動車）が通行可能かつ傾斜路の保護ができる舗装で仕上げる。
- ・景観木（ソメイヨシノ、イロハモミジ、イチヨウ）については、可能な限り残す。
- ・史跡地内に相応しい景観形成を図る。

2. 設計内容

①遺構表示

発掘調査成果からは裏門全体の規模は検出されなかったため、古写真から確認できる前面部分を擬石ブロックにて表示整備を行う。また番所跡については発掘調査から範囲が判明したため、番所跡の範囲についても表示整備を行う。

②サイン

門跡近くに解説板を設置する。

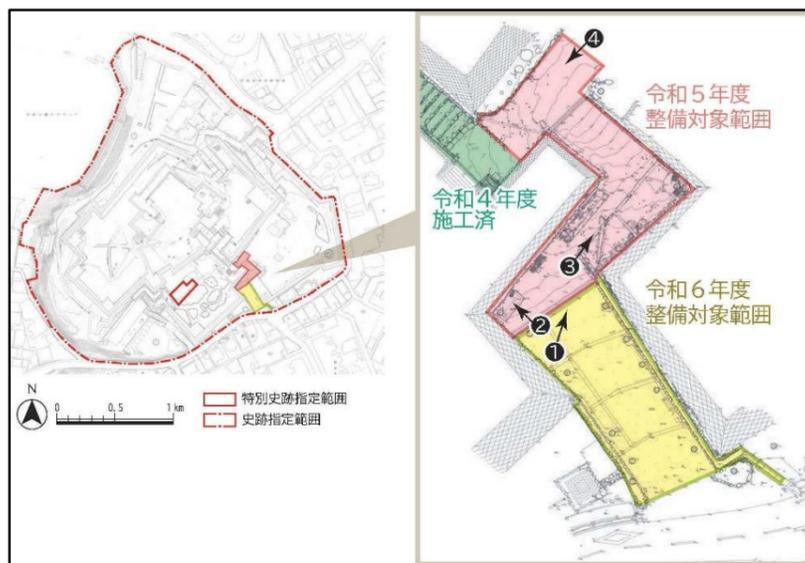
③雨水排水施設

路面の舗装に伴い既存の横断溝を改修する。また横断溝を2つ新設することで御城番長屋方向への雨水流下を防ぐ。いずれの水路も細めグレーチング蓋を掛ける。

④舗装

車輛の通行および傾斜路の保護を念頭に周辺景観に馴染む透水性脱色アスファルト舗装にて仕上げる。存置する樹木の周囲は舗装止めとして見切り材で囲む。

※各所の色彩は、経年変化により徐々に落ちついていく。



年度別整備箇所図

2

整備前



整備後



透水性アスファルト舗装

3



透水性アスファルト舗装

4



透水性アスファルト舗装

1

整備前



整備後



水路（横断溝）

令和6年度 整備イメージ



他事例写真



2 登城路整備イメージ

・現況



・整備後

